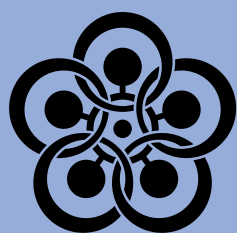


平成19年度



東京医科歯科大学大学院
医歯学総合研究科
医歯科学専攻修士課程

学 生 募 集 要 項



東京医科歯科大学

1. 募集人員

医歯科学専攻 35人（医療管理政策学コースを除く。）

注）医療管理政策学コースは別途募集します。

2. 標準修業年限及び学位

標準修業年限は2年とし、研究内容により次の学位のいずれかが取得できます。

修 士 （医科学）

修 士 （歯科学）

3. 入学の時期 平成19年4月

4. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成19年3月卒業見込みの者（医学部医学科、歯学部歯学科、獣医学科（6年制）は除く。）
- (2) 学校教育法第68条の2第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成19年3月までに短期大学又は高等専門学校の専攻科を修了見込みで、同法により学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成19年3月修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成19年3月修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成19年3月修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成19年3月修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 次のいずれかに該当する者であって、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
大学に3年以上在学した者
外国において学校教育における15年の課程を修了した者
外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (9) 本大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成19年3月31日において22歳に達しているもの

5. 出願期間

平成18年6月23日（金）から平成18年7月6日（木）まで

- (1) 願書受付場所 東京医科歯科大学総務部大学院室（医歯学総合研究棟（期）3階）

- (2) 受付時間 平日 9時から12時、13時から17時まで
(3) 郵送の場合は本要項折り込みの封筒にて書留郵便により、出願期間内に必着のこと。

宛先 〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 東京医科歯科大学総務部大学院室

6. 出願手続

- (1) 出願を希望する者は、出願に先だち必ず専攻分野の指導教員と面談し、今後の研究・教育について相談して下さい。(募集を行わない分野もありますので、予めご了承下さい。)
- (2) 受験票は受付の際交付します。
- (3) 出願書類等
次の書類を一括して総務部大学院室に提出して下さい。
(ア) 入学願書(様式1)
(イ) 大学(学部)の成績証明書
(ウ) 卒業(見込)証明書
(エ) 研究の展望・抱負(様式2)
(オ) 検定料納付証明書(様式3)(入学検定料30,000円を本学所定の銀行振込用紙(振込依頼書)を使用し、振込みを行って下さい。その際、金融機関から発行される「東京医科歯科大学 検定料 納付証明書」を入学願書の所定欄に貼付してください。なお、手数料は払込人負担となります。)
(カ) 受験票を返送する封筒(郵送で出願する場合のみ 長形3号封筒に500円切手を貼付し、受信先及び郵便番号を記入したもの。)
注)・様式1～3は本要項綴じ込みの用紙を使用して下さい。
・いったん出願手続を完了した者にかかる出願書類及び入学検定料は、理由の如何にかかわらず返還しません。

7. 選抜方法及び試験科目等

入学者選抜は、学力検査・面接及び出願書類により行います。
なお、面接は出願書類の(エ)「研究の展望・抱負」を参考にして行います。

試験科目(筆記試験) 英 語

8. 試験日及び場所

- (1) 日 時 平成18年8月4日(金)午前9時から
(2) 場 所 東京医科歯科大学構内

9. 合格発表

平成18年8月31日(木)午後1時

大学院掲示板(6号館前)に掲示により発表するとともに、合格者には大学院室で合格通知書を交付します。合格通知書受領の際は、受験票を持参して下さい。交付時間は午後1時から午後5時までとします。

なお、当日受領しなかった合格者には郵送します。電話等による問い合わせには一切応じません。

10. 入学手続

- (1) 期 間 平成18年9月4日(月)から平成18年9月15日(金)まで
(平日 9時から12時、13時から17時。)

(2) 場 所 東京医科歯科大学総務部大学院室

(3) 入学時の必要経費(平成18年度実績)

入学料 282,000円

授業料 前期分 267,900円 年額 535,800円

入学料・授業料の改定が行われた場合は改定時から新料金が適用されます。

入学料の納入は、入学料振込依頼書を使用し、最寄りの銀行の窓口から電信扱いで振込みを行って下さい。

入学後の授業料の納入方法は、預金口座からの自動引落としにより行います。(入学手続きの際に詳細をお知らせします。)

入学料及び授業料の納付に関する照会は、経理部経理課出納掛(03-5803-5048)まで問い合わせ願います。

11. 出願資格認定について

出願資格(8)、(9)により出願しようとする者は、事前に総務部大学院室に問い合わせのうえ、次の手続を行い、出願資格の認定を受けてから出願して下さい。

(1) 受付期間 **平成18年6月12日(月)から平成18年6月16日(金)まで**

(受付時間 9時から12時, 13時から17時。郵送の場合も期間内に必着のこと。)

(2) 提出書類

・ 出願資格(9)によるもの

出願資格認定申請書(本学所定の用紙)

卒業証明書(最高学歴)

成績証明書(最高学歴)

経歴調書(本学所定の用紙)

志望分野で行いたい研究の抱負(本学所定の用紙)

推薦状(任意提出書類)

その他参考となるもの(資格・免許等)

・ 出願資格(8)によるもの

出願資格認定申請書(本学所定の用紙)

志望理由(関心を持つ分野, 研究計画, 将来の目標をA4版用紙1枚程度に記載すること。)

在学証明書または卒業証明書

成績証明書

推薦状(在学している場合は、大学の学長又は学部長が発行するもの。)(任意提出書類)

(3) 認定方法

出願資格の有無の審査を下記により行います。

書類審査 上記提出書類について審査する。

面接審査 **平成18年6月22日(木)午後3時から**

12. 注意事項

(1) 受験者は、試験開始15分前までには、試験会場に入室して下さい。

(2) 学力検査当日の遅刻は、試験開始後30分まで認めます。ただし試験時間は延長しません。

(3) 受験票を必ず持参して下さい。

(4) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。

(5) 提出書類と入学願書の氏名が異なる場合は、改姓を証明するものを添付して下さい。

(6) 入学試験事務は、平日 9 時から12時、13時から17時までとします。

(7) 問い合わせ等

(ア) 募集要項を郵送で請求する場合は、封筒に「医歯学総合研究科医歯科学専攻（修士課程）募集要項請求」と朱書し、返信用封筒（角形 2 号封筒に宛名を明記し、郵便切手240円を貼付したもの。）を同封して下さい。

(イ) 入学試験に関する照会は総務部大学院室にして下さい。（電話 03 - 5803 - 5919）

13．大学院医歯学総合研究科入学説明会について

(1) 日 時 **平成18年 6 月 8 日（木）午前11時30分から**

(2) 場 所 **東京医科歯科大学 5 号館 4 階講堂**

詳細については、ホームページでご確認下さい。

14．その他

(1) 本研究科医歯科学専攻修士課程を修了し、引き続き本研究科博士課程に進学を希望する者は、学内進学者とし、一般選考試験は行いません。

学内進学者には別に選考試験を行いますが、検定料及び入学料は不要です。

(2) 身体に障害があり、試験場に特別な配慮を必要とする場合は、出願時にその旨申し出て下さい。

(3) 外国の学歴を有する者は、本要項によるもののほか、別途提出書類がありますので、出願前に大学院室まで問い合わせ願います。

(4) 出願書類の記載事項と事実が相違している場合は、入学を取り消すことがあります。

〒113-8510 **東京都文京区湯島1-5-45**

東京医科歯科大学総務部大学院室

TEL 03 (5803) 5 9 1 9

<http://www.tmd.ac.jp>

医歯科学専攻修士課程の案内

1．専攻の趣旨

東京医科歯科大学は20世紀最後の年に、従来の医学と歯学の教育・研究と診療を融合させた医歯学総合研究科博士課程を立ち上げて重点化大学院大学として生まれ変わりました。脳死・臓器移植・体外受精・遺伝子治療等の生命倫理に関わる問題、先端医療・歯科医療の進歩と生命の尊厳・人々の生活と調和、社会の国際化と少子超高齢者社会の到来による疾病構造の変化、及び、患者さんのQOL（生活の質）を重視した医療・歯科医療等の問題など、医学・医療と歯学・歯科医療を取り巻く環境の変貌は、人々の想像を超えています。我々医療人は、生命科学・メディカルエレクトロニクス・人工臓器などの分野での研究成果を、人々の健康に還元する努力を続けてきましたが、新たな世紀では、医学と歯学の緊密な連携、基礎と臨床の融合及び学際領域の相互連携を図る新たな健康科学分野として医歯学領域を創出する必要があると考えたものです。

この新たな医歯学領域での教育・診療を支える研究を発展させるには、医師あるいは歯科医師を育成することを主目的とする医学部・歯学部出身の教育・研究者のみでは不可能であることは明白です。ますます複雑化する教育・研究に立ち向かうためには、理学・工学・薬学・農学などの多様な専門領域の成果を積極的に取り入れなければなりません。

そのためには、単に他領域の知識や成果の移入にとどまることなく、専門的な学識と技能を備えた人材との共同体制を早急に整備することが求められます。そこで、大学学部での専攻を問わず、多様な専門の背景をもつ学生の皆さんを対象に、多くの人材を学際的分野として拡大しつつある医学・歯学へと導く教育・研究システムを確立することを目的として医歯学総合研究科医歯科学専攻（修士課程）を設置しました。医学科、歯学科、獣医学科以外の学部学科を卒業した学生の皆さんを受け入れ、医学、歯学に関する幅広い知識を体系的、集中的に教育することにより、高度に専門化した医学、歯学分野の教育・研究者を養成しようとするものです。

なお、この修士課程は、医歯学領域の教育・研究者等の育成を目的とするところから、引き続き、医歯学総合研究科博士課程に進学することを想定した教育及び研究指導を行います。

2．修了要件

本専攻に2年以上在学し、授業科目30単位以上を修得し、修士論文審査に合格すること。

授業科目の講義内容

授 業 科 目	単 位 数			内 容
	必 修	選択必修	選 択	
人 体 形 態 学		2		人体の正常な構造についての知識を与えると同時に、医学者としての必要な観察眼の養成並びに生命の尊さを体験させる。
口 腔 形 態 学		2		人体の主要器官の相互位置関係及び形態と構造を理解し、顎口腔顔面領域の諸器官の肉眼的形態と構造及び微細構造と発生について教授する
人 体 機 能 学	2			人体の生命を支える基礎的機能について現象論的に教えると同時に、その機能を支えるメカニズムについて生理学を中心とした知識を与える。
病 理 病 態 学	2			疾病についての基礎的な概念を学ばせ、その原因、発生機序、進展の様式及び予後からなる疾病の自然史を教授し、併せて診断・治療の原理を教える。
生 体 材 料 学	2			健全な生体機能を回復・維持するために必要な医療器具(医用材料・器材)の材料学的、生物学的性質及び臨床応用機器の基礎について教授する。
環 境 社 会 医 歯 学	2			健康推進医歯学、疫学、地球環境医学、医療経済学、医療管理学、医療情報学、医療法制及び精神医学の基礎的知識と方法論を理解し、社会における医歯学の役割と相互関係を教授する。
臨 床 医 歯 学 概 論	2			疾病の診断、治療、予防及び疫学の基本的戦略を理解し、臨床医学・歯学の基礎的方法について知識を与えるとともに、診断、治療における基本的原理について教授する。
医 科 学 演 習		4		指導教員の所属する研究室のゼミや研究科が主催する講習会と研修会に参加し、最新の医科学の成果と技術及び基礎的な研究方法等を習得する。
医 科 学 実 習		4		教員の指導のもとに研究課題を設定し、これについての研究計画を立案し、実験を行い、研究成果をまとめて修士論文として公表する。
歯 科 学 演 習		4		指導教員の所属する研究室のゼミや研究科が主催する講習会と研修会に参加し、最新の歯科学の成果と技術及び基礎的な研究方法等を習得する。
歯 科 学 実 習		4		教員の指導のもとに研究課題を設定し、これについての研究計画を立案し、実験を行い、研究成果をまとめて修士論文として公表する。
医 歯 学 概 論	2			現代の医歯学の学問体系の全体像を理解するとともに、医歯学を支える学際的な学問分野領域の重要性と可能性及び生命倫理とリスクマネジメントについて教授する。
病 院 実 習	2			本学附属病院の最先端の医療現場を体験し、医療従事者との交流を通じて教育研究者としての心構えを体得させるとともに、事実に基づく医療の評価方法を教授する。

授 業 科 目	単 位 数			内 容
	必 修	選択必修	選 択	
生 化 学			2	生命現象の本質を分子レベルで理解しようとする生化学・分子生物学の基礎的知識を教授し、生命現象を理論的に思考展開できる能力を涵養する基礎を与える。
薬 理 学			2	基本的・代表的薬物の薬理作用、作用機序、代謝、副作用及び臨床応用の基礎的知識を教授し、臨床における薬物療法の基盤となる知識を与える。
機 能 分 子 総 論			2	生体機能を制御する物質創製、高機能性生体分子の分子設計、薬剤送達機能分子の開発及び生体関連分子センサーの開発の総論を教授する。
医 用 素 材 学 総 論			2	金属材料、セラミック及び有機材料を主要素とした硬組織の接合する人工臓器素材、軟組織に接合する人工臓器素材及び血液を凝固させない材料の開発の総論を教授する。
医用システム学総論			2	機能分子や人工臓器素材を利用して生体機能を再建することのできる未来型人工臓器の設計加工技術、長寿命化技術の開発及び知能化技術の開発の総論を教授する。
ウイルス・免疫疾患総論			2	ウイルス性疾患の発症機作の解明と治療法の開発に必要なウイルスと宿主の相関関係、ウイルスの病原性と免疫原性及び自己免疫疾患の総論を教授する。
遺 伝 疾 患 総 論			2	ヒトの先天性異常の発生や多段階発癌に関わるゲノム異常、種々の代謝性疾患における遺伝的制御機構及び遺伝子の発現とその調節機構の総論を教授する。
情 報 医 学 総 論			2	各種疾患の要因、診断、治療、予後及び予防に關しての基礎的及び応用的な情報科学及び医療情報学の総論を教授する。
神 經 疾 患 総 論			2	個体から臓器・器官さらに細胞・分子に至る各レベルからみた神経系が関与する難治疾患の生理・病理に関する総論を教授する。
修得すべき単位数	14	10	6	計 30単位

履修方法：本専攻において修得すべき30単位の履修方法は次による。

必修科目14単位を履修し、選択科目から3科目6単位以上を選択するほか、選択必修科目から3科目10単位を選択履修する。ただし、医科学修士の学位を希望する者は人体形態学、医科学演習、医科学実習を、歯科学修士の学位を希望する者は口腔形態学、歯科学演習、歯科学実習を履修する。

研究内容一覧

番号は分野別教員連絡先(21ページ以降)の番号に対応します。

専攻名	大講座名	番号	分野名	指導教員	研究内容
口腔機能再構築学系	口腔機能再建学	1	口腔病理学 D	山口 朗	1. 顎口腔領域疾患の外科病理学的研究 2. 骨芽細胞の分化と骨形成の調節機構の研究 3. 骨再生の分子メカニズムの解析 4. 脊椎動物の進化における骨格形成の変遷 5. 初期発生に意義のある新しい遺伝子のクローニング
		2	分子腫瘍学 D	土田 信夫	1. 癌細胞におけるERKを中心とするシグナル伝達の分子機構 2. 抗腫瘍物質、カテキン、p53によるアポトーシス誘導機構 3. 細胞核サブドメインとクロマチンの相互作用を中心とする核内構成(nuclear organization)の制御 4. siRNA, RNA-DNAキメラ及び生理活性物を用いた腫瘍の増殖抑制の研究
		3	分子免疫学 D	東 みゆき	1. 感染症、アレルギー、自己免疫病、癌などの病態における免疫応答メカニズムの細胞および分子レベルにおける研究 2. リンパ球の機能発現を調節する免疫機能分子の役割とその信号伝達に関する研究 3. 免疫機能分子あるいは細胞制御による免疫治療法の開発
		4	口腔放射線腫瘍学 D	三浦 雅彦	1. 新規血管新生阻害型放射線増感剤の開発とその機構解析 2. 放射線による正常細胞の老化様相質発現解析 3. 型インスリン様増殖因子受容体(IGF-IR)の血管新生能に関する研究 4. マイクロアレーを用いた口腔癌の放射線治療効果予測に関する研究
		5	顎口腔外科学 D	小村 健	1. 口腔癌の浸潤・転移に関する分子生物学的研究 2. 口腔癌術後の機能障害とQOLに関する研究 3. 外科的矯正手術後の治癒機転に関する研究 4. 口唇・口蓋裂の顎裂骨移植に関する研究 5. 骨誘導因子による硬組織再生に関する研究
		6	口腔放射線医学 D	倉林 亨	1. 画像診断の有効性の向上に関する研究 2. Sectional Imagingを利用した顎顔面領域疾患の鑑別診断法に関する研究 3. 顎顔面領域を対象とした新しいfMRI撮像シーケンスの開発 4. 細胞の放射線感受性遺伝子に関する研究
		7	麻酔・生体管理学 D	海野 雅浩	1. 非侵襲ドラッグデリバリーシステムの開発 2. 非侵害および侵害刺激と自律神経反射の解明 3. 顎顔面領域でのニューロパシックペインの病因の解明とその治療法の開発 4. 顎顔面領域での広範囲抑制性鎮痛の解明 5. 精神鎮静法と歯科治療における全身管理の臨床的研究
		8	疼痛制御学 D	嶋田 昌彦	1. 神経因性疼痛の発現メカニズムに関する研究 2. 心因性疼痛の治療法に関する研究 3. 口腔・顎顔面領域の異常感覚に関する研究 4. 舌痛症および味覚障害に関する研究 5. 口腔への侵害刺激に対する制御機構に関する研究
		9	口腔病態診断科学 D(DH)	岡田 憲彦	1. 口腔腫瘍の臨床病理学的研究 2. 口腔粘膜疾患の免疫病理学的、超微形態学的研究 3. 口腔領域感染症の臨床細菌学的検討
	口腔機能発育学	10	小児歯科学 D	高木 裕三	1. 小児の顎・口腔機能に関する生理学的、生物学的研究 2. 歯の形成および異常に関する研究 3. 小児の歯列、顎・顔面頭蓋の成長発育について 4. 小児歯科治療に関する基礎的研究
		11	咬合機能矯正学 D	相馬 邦道	1. 咬合機能に関する生力学的研究 2. 矯正力に対する生物学的反応と機能的適応に関する研究 3. 増齢に伴う歯・顎顔面頭蓋の形態と機能の変化に関する研究 4. 顎顔面頭蓋と全身との関連に関する研究 5. 歯科材料学の矯正臨床への応用

専攻名	大講座名	番号	分野名	指導教員	研究内容
口腔機能再構築学系	摂食機能保存学	12	う蝕制御学 D	田上順次	1. う蝕予防法の開発 2. う蝕診断法の開発 3. 接着性レジン修復法の改善 4. 歯質保存的な審美修復法の開発 5. ホワイトニングの開発、改善
		13	摂食機能保存学 D	三浦宏之	1. 咬合、咀嚼に関する研究（下顎位、下顎運動、咬合器、咀嚼効率など） 2. 咬合接触が歯周組織をはじめとする顎口腔系に及ぼす影響に関する研究（歯の変位、歯槽骨の歪み、咬合接触、コンタクトなど） 3. CAD/CAMを応用したオールセラミックブリッジの臨床応用に関する研究 4. レーザーの冠橋義歯補綴学分野への応用（ブリッジの溶接） 5. 歯科材料が生体へ及ぼす影響に関する研究（金属アレルギーなど）
		14	歯髄生物学 D	須田英明	1. 歯痛の生理学的メカニズム 2. レーザーの歯内療法への応用 3. 歯根破折のメカニズムと診断 4. 歯髄及び根尖歯周組織疾患の分子生物学的解析 5. NiTi超弾性ファイルの研究
		15	先端材料評価学 D	高橋英和	1. 歯科用セラミックスの疲労挙動の解明 2. 歯科用コンポジットレジンの物性改善に関する研究 3. ガラスファイバーの歯科応用に関する研究 4. 各種歯科材料への接着性を改善させるプライマーの処理方法 5. 各種歯科材料と歯質の物性評価
		16	有機材料学 D(BM)	秋吉一成	1. ゲル工学による新規バイオマテリアルの創成と応用 2. リボソーム工学・脂質工学による新規バイオマテリアルの創成と応用 3. 再生医療のための新規機能性ヒドロゲルの設計と応用 4. 新規ドラッグデリバリーシステム（タンパク質、遺伝子デリバリー）の開発と応用 5. 生体に倣ったバイオインターフェイスの設計
		17	機能材料学 D(BM)	岸田晶夫	1. 再生医療用材料および技術の開発（スキャフォールド、バイオリアクター等） 2. 分子間力制御によるナノ集合体の開発と遺伝子デリバリーへの応用 3. 新しい治療機器・材料の開発（ステント、超音波接合装置等） 4. 貴金属に対するレジンの接着安定性を向上させる機能性モノマーの開発研究 5. 天然資源に含まれる生体機能分子に関する研究
	摂食機能回復学	18	部分床義歯補綴学 D	五十嵐順正	1. 歯・歯列欠損による顎口腔系の障害評価 2. 補綴装置による歯列欠損患者の咬合・咀嚼機能回復評価 3. 欠損補綴処置臨床技法の開発・評価 4. 可撤性部分床義歯による欠損補綴処置の経年的評価 5. 新規生体材料の欠損補綴治療への適用・評価
		19	インプラント・口腔再生医学 D	春日井昇平	1. 骨および歯周組織の再生に関する研究 2. 生体親和性を向上させた次世代歯科インプラントの開発 3. 歯科インプラント支持組織の経時的変化の解明 4. 歯科インプラント受容側の適性化の検討 5. 歯科インプラント上部構造の最適化に関する検討
		20	全部床義歯補綴学 D	早川 巖 (H19.3.31 定年退職予定)	1. 全部床義歯の臨床術式 2. 無口蓋義歯の研究 3. インプラントオーバーデンチャーシステムの開発 4. 咀嚼能力の評価法 5. 義歯用材料の研究、開発

専攻名	大講座名	番号	分野名	指導教員	研究内容
顎顔面顎部機能再建学系	顎顔面機構制御学	21	顎顔面解剖学 D	山下 靖 雄	1. 顎骨の構造 2. 歯ならびに歯周組織の構造と発育 3. 歯の比較解剖学 4. 口腔粘膜の構造 5. 顎関節の構造と発育
		22	認知神経生物学 D	入 来 篤 史 (客員教授)	1. 身体像に基づく概念形成と言語発達の大脳皮質神経機構 2. 法則知覚に基づく推論的な行為計画の連合皮質神経機構 3. 触知覚探索運動制御の体性感覚高次情報処理機構 4. 鳴声や音声言語の大脳皮質聴覚野複合音処理機構 5. 音声コミュニケーションと他者理解の脳神経情報機構
		23	分子発生学 D	江 藤 一 洋 (H19.3.31 定年退職予定)	1. 哺乳類口腔顎顔面の形態形成に関する研究 2. 哺乳類口腔顎顔面組織の再生に関する研究 3. 哺乳類頭部神経堤細胞の発生と分化に関する研究
		24	分子細胞機能学 D	森 田 育 男	1. ギャップ結合を介した細胞間情報伝達系に関する研究およびDDSへの応用 2. 血管新生阻害因子産生調節機序の解明及び臨床応用 3. 炎症と抗炎症に関する研究 4. ナノテクノロジーを応用した再生医療
		25	分子神経生物学 D	野 崎 修 一	1. 咀嚼運動の遂行に関与する統合中枢としての中脳網様体の役割 2. 咀嚼時の顎、舌協調運動に関与する神経機構 3. 咀嚼運動に関与する視床下部摂食中枢の役割 4. 咀嚼運動に関与する内臓感覚入力
	顎顔面機能修復学	26	顎顔面外科学 D	天 笠 光 雄	1. 口腔悪性腫瘍の基礎的・臨床的研究 2. 口唇口蓋裂・顎変形症に関する研究 3. 顎関節疾患の基礎的・臨床的研究 4. 骨の再生および細胞生物学的研究 5. 遺伝子診断・治療に関する研究
		27	顎顔面矯正学 D	(教員選考中)	1. 先天奇形疾患動物モデルの開発と発生機序の解析についての研究 2. 顎顔面領域における先天異常の原因遺伝子に関する分子遺伝学的研究 3. 歯周組織形成、歯の萌出にかかわる遺伝子の機能解析についての研究 4. 口腔諸機能と高次中枢に関する研究 5. 仮骨延長法に関する実験的研究
		28	顎顔面補綴学 D	谷 口 尚	1. 顎顔面欠損による機能障害に関する診断と治療 2. 顎顔面補綴材料の開発 3. 生体歯列のモード解析 4. 音声・言語の音響学的解析 5. メディカル・デンタルアート
		29	障害者歯科学 D	山 崎 統 資	1. 口腔バイオフィルムの生成と除去に関する研究 2. 全身疾患と口腔微生物に関する研究 3. 薬物性歯肉肥大に関する研究 4. 口腔内刺激の大脳皮質への影響に関する研究 5. 給・排水機能付き歯ブラシの開発と臨床応用
		30	金属材料学 D(BM)	塙 隆 夫	1. 金属—無機・有機ナノ界面ハイブリッドの創出 2. 表面改質による材料の生体機能化 3. 生体用および歯科用チタン合金の開発 4. 形状記憶合金の生体および歯科応用に関する研究
		31	機械学 D(BM)	高久田 和夫	1. 力学的刺激に対する生体組織の応答に関する研究 2. 生体材料と生体組織の力学的適合性に関する研究 3. 生体材料を利用した組織再生及び機能再建 4. 医・歯科用機器の開発

専攻名	大講座名	番号	分野名	指導教員	研究内容
顎顔面顎部機能再建学系	頭頸部再建学	32	臨床解剖学 M	(教員選考中)	1. 機能温存手術を指向するための解剖学的基盤の形成 2. 下顎神経に支配される筋群の構造解析と形態学的分類 3. 肛門の発生過程の解析 4. 膝関節を中心とした関節内靱帯の発生機序の解析
		33	形成外科学 M	秦 維 郎	1. キトサンを利用した創傷被覆剤の開発 2. 人工神経の開発 3. 軟骨細胞の培養
		34	頭頸部外科学 M	岸 本 誠 司	1. 頭蓋底解剖 2. 頭蓋底病変の画像診断 3. 頸部郭清術の標準化 4. 頭蓋底手術法の開発
		35	腫瘍放射線医学 M	渋谷 均	1. 頭頸部腫瘍の放射線治療精度向上への研究 2. 口腔癌のマイクロアレー法による遺伝子解析 3. 新しいX線画像診断法の開発と研究 4. 陽電子核種を用いた新しい画像診断の開発 5. 放射線誘発正常組織障害の研究
生体支持組織学系	生体硬組織再生学	36	硬組織構造生物学 D	高 野 吉 郎	1. 歯と歯周組織形成機構の解明と再生誘導 2. 生物学的石灰化機構の解明 3. 硬組織形成細胞の自己組織化に関する研究
		37	硬組織薬理学 D	大 谷 啓 一	1. 硬組織(歯、骨、軟骨など)の形成・吸収のメカニズムの解明 2. 硬組織疾患に使用する薬物の開発 3. 破骨細胞における情報伝達機構の薬物による制御 4. 硬組織形成を制御する薬物の開発
		38	硬組織再生学 D	篠村 多摩之	1. 硬組織(歯・骨・軟骨)を構成する細胞の分化制御機構の解明 2. 分化した硬組織の形質維持に必要な分子機構の解明 3. 歯根膜および軟骨組織を特徴づけている細胞外マトリックスの解析
		39	硬組織病態生化学 D	柳 下 正 樹	1. 細胞外マトリックス分子の代謝 2. プロテオグリカンの生合成と分解 3. ヘパラン硫酸プロテオグリカンの生合成 4. ヘパラン硫酸分解酵素
		40	分子情報伝達学 D	高 柳 広	1. 破骨細胞・骨芽細胞における細胞内シグナル伝達機構の解明 2. プロテオーム・トランスクリプトーム解析による遺伝子網羅検索 3. 免疫系と骨代謝の相互作用(骨免疫学)の研究 4. 遺伝子改変マウスやRNAiを用いた遺伝子機能解析 5. 関節リウマチ等の骨破壊性疾患の治療法の開発
		41	歯周病学 D	(教員選考中)	1. 歯周組織再生に関する研究 2. 歯周病原性細菌に関する研究 3. レーザーの歯周治療への応用に関する研究 4. 歯周炎における炎症、免疫に関する研究 5. 歯周病と全身疾患に関する研究
		42	無機材料学 D(BM)	山 下 仁 大	1. ハイドロキシアパタイトセラミックスの合成とキャラクターゼーションおよび生物学的評価 2. 無機材料の医科・歯科・バイオテクノロジーへの応用研究 3. 分極生体用セラミックスおよびガラスに関する研究 4. 新規人工歯根および人工股関節用HAコーティングの開発
	支持分子制御学	43	細胞生物学 M	岡 部 繁 男	1. 中枢神経系回路構築とシナプス形成・維持機構の解析
		44	病態代謝解析学 M	畑 裕	1. 神経シナプスと脳高次機能障害に関する研究 2. 上皮細胞間結合と癌に関する研究
		45	運動器外科学 M	宗 田 大	1. 組織幹細胞を用いた骨・関節組織の再生および再建 2. 関節炎のメカニズムの解明と関節線維化のコントロール 3. 骨・関節疼痛メカニズムの解明と治療 4. スポーツ障害のメカニズムの解明と治療法の開発 5. 新しい人工関節の開発

専攻名	大講座名	番号	分野名	指導教員	研究内容
環境社会医学歯学系	国際健康開発学	46	健康推進医学 M	高野健人	1. 健康指標および都市環境指標解析と保健政策研究 2. 環境化学物質の健康影響評価 3. 健康にかかわる住宅および居住環境の質 4. 地域保健分野における情報通信技術の活用手法の開発 5. 開発国および開発途上国における都市化の健康影響と都市保健政策
		47	国際環境寄生虫病学 M	太田伸生	1. 寄生虫症の感染免疫に関する研究 2. 熱帯寄生虫感染症の病態・治療・予防に関わる標的分子探索 3. 熱帯感染症の疫学的研究 4. 動物由来寄生虫感染症の病態・診断・治療に関する研究
		48	司法医学 M	伊藤洋子	1. 司法医学 2. DNA鑑定 3. 法医病理 4. 医事法一般 5. 強姦を含めた性犯罪一般
		49	国際保健医療協力学 M	中村桂子	1. 健康水準の格差とその背景要因に関する研究 2. 地理情報システムを用いた生態系変容とその健康影響評価 3. 社会文化的健康決定要因の作用機序に関する研究 4. 社会的共通資本開発が健康開発をもたらす作用機序の解明 5. 開発国および開発途上国における環境管理と健康政策
		50	健康推進歯学 D	川口陽子	1. 歯科疾患の疫学・予防に関する研究 2. 歯科保健医療システムに関する研究 3. 全身と口腔の健康の関連性に関する研究 4. オーラルヘルスプロモーションに関する研究 5. 国際歯科保健に関する研究
		51	スポーツ医歯学 D	上野俊明	1. スポーツ選手の口腔健康の維持増進と歯科医学的サポート 2. 咬合機能とスポーツパフォーマンスの関連性の検証 3. 理想的なマウスガードの開発と普及 4. フェイスガードの開発
		52	法歯学 D		1. 司法解剖 2. 法医病理 3. 法歯学
		53	社会精神保健学 M(MR)	山上皓 (H19.3.31 定年退職予定)	1. 犯罪者の心理 2. 精神障害と犯罪 3. 精神鑑定 4. 犯罪被害者の心理と援助 5. 交通事故被害者等高次脳機能障害者の診断と援助
		54	分子疫学 M(MR)	(兼) 山上皓 (H19.3.31 定年退職予定)	1. 分子疫学 2. 遺伝子多型と疾患感受性 3. ゲノム情報の医学・医療への応用
	医療政策学	55	政策科学 M	河原和夫	1. 健康増進政策の形成過程およびその評価に関する研究 2. 医療計画制度に関する研究 3. 血液事業政策に関する研究 4. 医療安全に関する研究 5. 近代医学史に関する研究
		56	医療経済学 D	川渕孝一	1. 小児放射線診療における医療経済的検討 2. 介護予防対策等の経済的評価の枠組みに関する研究 3. 歯科医療及び調剤薬局における競争と効率性に関する研究 4. DPCデータを使ったマネジメント指標の開発とベンチマーク 5. 急性心筋梗塞のアウトカムに関する日中比較研究
		57	歯学教育開発学 D	森尾郁子	1. 医療専門職業人教育のためのカリキュラム研究 2. 医療専門職業人教育における教育手法の研究 3. 医療専門職業人教育における評価方法の研究 4. 歯科医学教育の国際比較

専攻名	大講座名	番号	分野名	指導教員	研究内容
環境社会医歯学系	医療政策学	58	研究開発学 M	高瀬浩造	1. 包括的医療管理におけるマネジメント技法の開発 2. 病院情報管理におけるシステム開発と調達方法の研究 3. 電子化診療記録・パスの開発と運用 4. 医療事故・医療訴訟と医療の質および法制度改革についての研究 5. 医学・医療における科学と倫理の多角的評価方法についての研究
		59	医療情報システム学 M(MH)	伏見清秀	1. 診断群分類DPCの開発とDPC包括評価のための診療情報管理 2. 医療機関プロファイリングと疾病管理への情報技術の応用 3. 厚生医療統計データウェアハウスの構築と医療機能評価 4. 診療情報交換記述規約の開発 5. 医療コスト分析と医療経営管理
		60	歯科医療政策学 D	(教員選考中)	1. EBMに基づいた歯科保健・医療政策の立案と評価 2. 疫学、統計学の歯科領域への応用 3. 医学・歯学連携研究成果の政策応用に関する研究 4. 歯科保健・医療従事者の資質向上政策に関する研究 5. 歯科保健・医療関連の医事法制に関する研究
		61	歯学教育システム評価学 D(CE)	荒木孝二	1. 歯学教育カリキュラム評価方法の開発・実践・解析 2. 歯学教育システム評価における普遍性・妥当性・信頼性の検証法の開発 3. 卒前および卒直後における国際的な教育水準評価システムの開発
老化制御学系	口腔老化制御学	62	高齢者歯科学 D	植松宏	1. 高齢者の摂食・嚥下機能 2. 加齢による口腔周囲の機能の変化 3. 高齢者における口腔ケアの意義 4. 機能に応じた食形態について 5. 高齢歯科患者の歯科治療時の全身管理
	加齢制御医学	63	包括病理学 M	北川昌伸	1. レトロウイルス誘発白血病の発生機構の解析 2. 骨髄異形成症候群発症のメカニズムに関する分子病理学的研究 3. レトロウイルス感染とアポトーシス制御因子の相互関連の解析 4. 加齢と発癌に関する総合的研究 5. ストレス時における神経内分泌免疫系の相互関係の解析
		64	統合呼吸器病学 M	吉澤靖之	1. 慢性鳥飼病の臨床病理学的検討 2. 間質性肺炎における線維化の機序 3. 気管支喘息の病態研究 4. 過敏性肺炎における発症関連抗原のクローニング 5. 慢性閉塞性肺疾患における細胞外マトリックスの代謝
		65	血流制御内科学 M	下門顕太郎	1. 血管生物学 2. 動脈硬化の発症機構および発症予防 3. 再生医療による動脈硬化性疾患の治療 4. 老年病学
		66	血管・応用外科学 M	岩井武尚 (H19.3.31 定年退職予定)	1. 血管外科(頭蓋内および心臓を除く) 2. 無侵襲血管診断法の研究 3. 重症虚血肢の取扱い基準に関する研究 4. パーチャー病に関する研究 5. 食道・胃外科
		67	リハビリテーション医学 M(MH)	森田定雄	1. 上肢の3次元動作解析 2. 客観的評価法としての歩行分析 3. CAD/CAMによる義肢ソケットの適合に関する研究 4. 廃用性骨萎縮の成因と予防に関する研究
全人的医療開発学系	包括診療歯科学	68	総合診療歯科学 D	黒崎紀正	1. 歯科臨床教育・臨床研修の改善に関する研究 2. 歯科用修復材料の物性向上に関する研究 3. 睡眠時無呼吸症候群の新しい診断法に関する研究 4. 歯科ユニットおよび水ラインの感染対策に関する研究 5. 化学・機械的う蝕除去法に関する研究
		69	頭頸部心身医学 D	(教員選考中)	1. ストレスの口腔・頭頸部領域における身体表現の機構解明 2. 自律神経機能にみるストレスの頭頸部領域への身体症状発現機構についての研究 3. 口腔・頭頸部領域の感覚異常、慢性疼痛に関する心身医学的研究 4. 各種心理療法の臨床における応用と開発研究

専攻名	大講座名	番号	分野名	指導教員	研究内容
全人的医療開発学系	包括診療歯科学	70	歯科医療行動科学 D	俣 木 志 朗	1. 医療における人間行動の特性に関する研究 2. 患者 - 医療者関係に及ぼす諸因子の研究 3. 歯学教育における行動科学の応用に関する研究 4. 歯学における行動科学の体系化に関する研究
		71	顎 関 節 咬 合 学 D(DH)	木 野 孔 司	1. 顎関節症患者の症状維持持続化に関与する寄与因子に関する研究 2. 歯科疾患患者の中で特に多い精神的問題と身体症状に関する研究 3. 顎関節症、歯周疾患などに影響する夜間ブラキシズムに関する研究 4. 顎関節、咀嚼筋、咬合感覚と脳機能との関連性に関する研究
	全人診断治療学	72	臨 床 検 査 医 学 M	奈 良 信 雄	1. 白血病細胞の増殖機構の解明 2. 腫瘍・感染症の遺伝子診断 3. 造血細胞の自己再生と分化の分子機構
		73	救 命 救 急 医 学 M	今 井 孝 祐	1. 肺の虚血・再灌流障害の機構解明 2. 重症患者における非侵襲的モニタリング法の開発 3. hANPの肺障害治療効果の臨床的、実験的解明 4. NOとショック 5. 多臓器不全の病態生理の解明
		74	心療・緩和医療学 M	松 島 英 介	1. 身体疾患患者に生じる不安・抑うつ等の臨床的、精神生理学的研究 2. せん妄の臨床的、精神生理学的研究 3. 認知障害をきたす身体疾患の神経心理学的研究 4. 癌患者およびその家族の心理、社会学的研究 5. 精神疾患患者の精神生理学的研究、脳機能画像研究
		75	薬 物 動 態 学 M(MH)	安 原 眞 人	1. 薬物体内動態と薬効の速度論解析 2. 薬物の生体膜輸送機構に関する研究 3. 新しいドラッグデリバリーシステムの開発
		76	臨床医学教育開発学 M	田 中 雄 二 郎	1. 医師・医学者の基盤形成に関わる卒前教育の計画策定と評価 2. 卒後臨床研修および生涯教育の方策と評価 3. 高度先進医療の基盤となる医療連携および医療技術に関する研究
認知行動医学系	システム神経医学	77	救 急 災 害 医 学 M	大 友 康 裕	1. 各種侵襲による生体反応とその制御の解明、治療法の開発 2. 重症胸腹部外傷、多発外傷に関する臨床的・基礎的研究 3. 外傷疫学、外傷予防 4. 災害医療 5. 代用血液の臨床応用
		78	神 経 機 能 形 態 学 M	寺 田 純 雄	1. 細胞内分子間反応検出法など新規測光法の開発 2. 神経細胞における生体分子の輸送とその品質管理のクロストーク機構の解明
		79	システム神経生理学 M	篠 田 義 一	1. 高等哺乳類の運動制御の中枢神経機構
		80	眼 科 学 M	望 月 學	1. ぶどう膜炎の発症機構に関する分子生物学的研究 2. ぶどう膜炎の治療法の開発 3. 眼内血管新生に関する分子生物学的研究 4. 強度近視、加齢黄斑変性による網膜脈絡膜障害の治療法の開発
		81	耳 鼻 咽 喉 科 学 M	喜 多 村 健	1. ヒトならびに実験動物の内耳障害の分子遺伝学的解析 2. 聴覚認知機構の解明 3. 耳鼻咽喉科領域悪性腫瘍の分子遺伝学解析と遺伝子治療 4. コンピュータ支援による耳鼻咽喉科領域手術 5. 耳鼻咽喉科領域の系統解剖学
		82	認 知 シ ス テ ム 学 M(MR)	浜 崎 浩 子	1. 神経幹細胞のニューロン・グリアへの分化過程の解明 2. 分子から個体レベルまでの脳機能の統合的理解のためのモデル動物の開発（マウス） 3. 鳥類における記憶・学習行動に関与する脳部域のマッピングと発達様式の解明 4. モデル動物を用いた神経伝達物質及びその受容体の機能解析

専攻名	大講座名	番号	分野名	指導教員	研究内容
認知行動医学系	システム神経医学	83	生体システム制御学 M(BM)	東 洋	1. 血管リモデリング制御機構に関する基礎・応用研究 2. 排尿障害・勃起不全の制御機構に関する基礎・応用研究 3. 女性ホルモン環境の変化と血管病変に関する基礎・応用研究 4. 高機能性を負与したステントの開発 5. 睡眠に関する基礎的研究
	脳行動病態学	84	細胞薬理学 M	田邊 勉	1. 神経型Caチャンネルの機能と特異性に関する研究 2. ヒト型ノックインマウスを用いた神経疾患（SCA6, EA2）の発症機序の解明と治療法の開発 3. 痛覚異常マウスを用いた神経因性疼痛の発症機序の解明と治療法の開発 4. 遺伝子改変マウスを用いた薬物依存と薬物耐性の分子機構の解明 5. 組織幹細胞の可塑性制御機構の解明と再生医療への応用
		85	脳神経病態学 M	水澤 英 洋	1. 神経疾患の原因遺伝子の同定、その機能と発症機序の解析、治療法の開発 2. RNAiを用いた神経疾患の病態解明と治療法の開発 3. 脳卒中、痴呆症など神経疾患の幹細胞を用いた治療研究 4. 免疫性神経疾患の発症機序の解明 5. 神経疾患の電気生理学・機能画像的研究による病態解明
		86	精神行動医科学 M	西 川 徹	1. 統合失調症の分子病態解明と新しい治療法開発 2. 抗精神病薬抵抗性の統合失調症状に対するD-サイクロセリンの臨床応用 3. ストレス性精神障害の発症と再発の分子機構に関する研究 4. 内在性D-セリンの代謝・機能・病態の分子機構解明と精神神経疾患の治療法開発への応用 5. 脳画像を用いた精神疾患の病態解析
		87	脳神経機能外科学 M	大野 喜久郎	1. 脳・脊髄腫瘍の分子生物学的解析ならびに治療法の研究 2. 脳血管障害の病態解析とその治療法の研究 3. 脳・脊髄外傷における細胞障害の解析、可塑性の研究 4. 側頭葉てんかんおよび不随意運動の病態解析と外科治療 5. 高次脳機能の種々計測法を用いた研究
		88	神経病理学 M(MR)	岡 澤 均	1. ポリグルタミン病の分子機構の解明 2. アルツハイマー病の分子機構の解明 3. 神経変性疾患の新しい分子治療法の開発 4. 神経幹細胞の分化機構の解明と治療応用
	感染応答学	89	免疫アレルギー学 M	鳥 山 一	1. 遺伝子改変モデル動物を応用した慢性アレルギー病態の解明 2. リンパ球の発生・分化の分子制御機構の解明 3. 免疫不全症の病態解明と治療への応用 4. 感染症における自然免疫応答調節機構の解明
		90	ウイルス制御学 M	山 岡 昇 司	1. HIV - 1 と HTLV - I の増殖と病原性にかかわる細胞因子 2. ウイルスタンパク質を使った情報伝達経路の研究 3. 抗ウイルス薬開発と HIV - 1 の感染メカニズム 4. 疾患モデルマウスを用いた悪性腫瘍とウイルス感染症研究 5. 可溶性インターロイキンレセプターの産生とその機能
		91	免疫治療学 M	神奈木 真理	1. 抗腫瘍免疫とワクチンに関する動物モデルの研究 2. 成人T細胞白血病の免疫学的リスクと免疫治療の研究 3. HIV複製抑制因子に関する研究 4. HIVインテグラーゼを中心とするHIV複製機序の研究 5. SARSをモデルとする炎症性疾患の分子メカニズム
		92	細胞制御学 M(MR)	山 梨 裕 司	1. 高次生命機能の制御に関わるシグナル分子の探索とその作用機構 2. 神経筋シナプスの構築に関わるシグナル伝達機構 3. チロシンキナーゼによる発癌とその抑制機構 4. チロシンキナーゼによる免疫応答の制御機構 5. シグナルアダプターによる細胞機能の制御機構
		93	ウイルス感染学 M(MR)	清 水 重 臣	1. 細胞死の分子メカニズム解明と癌や神経疾患との関連解析 2. 細胞死解析を基盤とした新たな難治疾患治療戦略の開発 3. ミトコンドリア異常に起因する疾患の分子メカニズム解明とそれに基づく治療戦略開発 4. 各種病態におけるミトコンドリアの機能変化解析 5. 臓器の虚血障害（心筋梗塞など）に対する治療法開発

専攻名	大講座名	番号	分野名	指導教員	研究内容
生 体 環 境 応 答 学 系	生 体 応 答 学	94	発達病態小児科学 M	水 谷 修 紀	1. 小児悪性腫瘍の遺伝的背景の解明 / 新規治療法の開発 2. 免疫系の発達と先天性免疫不全症の責任遺伝子の解明 3. 遺伝性神経疾患の原因究明 4. 原発性肺高血圧症、遺伝性不整脈の成立機序の解明
		95	膠原病リウマチ内科学 M	宮 坂 信 之	1. 関節リウマチに対する新規治療薬の開発研究 2. 関節リウマチに対する遺伝子治療法の開発研究 3. 関節リウマチの病態形成におけるケモカインの関与 4. 多発性筋炎の病因・病態解析研究 5. 膠原病に合併する間質性肺炎の新規治療法の開発研究
		96	皮 膚 科 学 M	横 関 博 雄	1. 接触過敏症の免疫機構の解析 2. アトピー性皮膚炎の病因・病態の解析と治療法の開発 3. 全身性強皮症の病態解析と治療法の開発 4. アレルギー疾患における好酸球の役割解析 5. 皮膚悪性腫瘍の遺伝子解析及び免疫療法の開発
		97	代謝応答化学 M(MR)	寺 岡 弘 文	1. 非相同末端連結によるDNA2重鎖切断修復機構の解明 2. PI3K関連プロテインキナーゼによる細胞機能制御の解明 3. 肝臓の再生医療に関する基礎研究 4. 肝関連遺伝子、肝特異的遺伝子発現のエピジェネティクス 5. ES細胞を含む哺乳動物細胞の運命に関する研究
		98	免疫応答制御学 M(MR)	安 達 貴 弘	1. 免疫応答（感染免疫を含む）ととりわけ液性免疫応答の分子機構の解明と制御法の開発 2. 免疫系における糖鎖シグナルの機能解明と糖鎖を用いた免疫制御法の開発 3. 免疫記憶の解明と、新たなコンセプトに基づくワクチンの開発 4. 自己免疫、アレルギー疾患の病因の解明と新たな制御法の開発 5. アポトーシスと細胞周期制御の分子機構の解明
		99	環 境 生 物 学 M(RC)	原 正 幸	1. クロマチン高次構造の構築機構に関する研究 2. 細胞核のプロテオーム多様性に関する研究 3. 細胞の酸化ストレスに対する防御機構に関する研究 4. 薬剤、環境物質、放射線等外的要因に対する細胞応答に関する研究
器 官 シ ス テ ム 制 御 学 系	消化代謝病学	100	人 体 病 理 学 M	(教員選考中)	1. 早期消化器癌の組織発生 2. 消化管隆起性病変の良悪性診断 3. 全身性肉芽腫疾患サルコイドーシスの病因 4. 臓器特異的自己免疫疾患の病因 5. 内因性感染症とオートファジー
		101	消 化 器 病 態 学 M	渡 辺 守	1. 炎症性腸疾患病態解明とそれを基盤にした免疫統御療法の開発 2. 腸管粘膜免疫を応用した炎症、アレルギーに対する新規治療法の開発 3. C型肝炎ウイルス増殖モデルを用いた新規治療法開発 4. 消化管・肝における再生機構の解析と再生医療 5. 消化管上皮分化制御機構の解析
		102	腫 瘍 外 科 学 M	杉 原 健 一	1. 大腸癌の発癌経路の解明 2. 大腸癌の発育・成長の抑制 3. 消化器癌に対する化学療法 4. 早期胃癌の効果的治療戦略 5. 乳癌の効果的治療戦略
	呼 吸 循 環 病 学	103	細 胞 生 理 学 M	水 島 昇	1. オートファジーの制御機構と生理機能の解析 2. タンパク質分解 / 代謝学 3. オートファゴソーム形成のメカニズム 4. オートファジー検出技術の開発 5. 細胞電位活動の光学的イメージング法による中枢神経系の解析
		104	循 環 制 御 内 科 学 M	磯 部 光 章	1. 不整脈 2. 動脈硬化・血管炎 3. 虚血性心疾患・心不全 4. 移植免疫 5. 遺伝子治療・再生医療

専攻名	大講座名	番号	分野名	指導教員	研究内容
器 官 シ ス テ ム 制 御 学 系	呼吸循環病学	105	心肺統御麻酔学 M	横田 浩 史	1. 急性肺傷害の成因と病態 2. 急性肺傷害に対する新しい治療法の開発 3. 肺胞上皮の機能に関する研究 4. 脳虚血の病態のMRIによる解明 5. 難治性疼痛の治療
		106	心肺機能外科学 M	砂 盛 誠	1. 虚血再灌流心筋の病態生理の機序の解明と保護法の開発 2. 低左心機能症例の外科治療法の開発 3. 複合心臓手術の術式改良 4. 心・肺移植 5. 心筋の再生に関する研究
		107	循環病態生理学 M(MR)	(兼) 木 村 彰 方	1. 不整脈の分子病態 2. 心臓電気生理学 3. 心筋細胞分化のメカニズム 4. 心臓の細胞治療・再生医療 5. 心筋活動電位モデルの構築と応用
		108	生体情報薬理学 M(MR)	古 川 哲 史	1. 心血管系イオンチャネルの調節機構 (一酸化窒素・性ホルモン・タンパク相互作用など) 2. イオンチャネル創薬 3. 分子イメージングを用いたイオンチャネル研究 4. モデリングを用いたイオンチャネル研究 5. 非興奮性細胞(マクロファージ・脂肪細胞など)のイオンチャネルと生活習慣病
		109	分子代謝医学 M(MR)	小 川 佳 宏	1. メタボリックシンドロームの成因の解明と新しい治療戦略の開発 2. 脂肪細胞の増殖・分化の分子機構に関する研究 3. 中枢性エネルギー代謝調節の分子機構に関する研究 4. レプチンの臨床的意義に関する分子医学的研究 5. 先天性内分泌・代謝性疾患の分子遺伝学的研究
	生体調節制御学	110	腎臓内科学 M	佐々木 成	1. 腎臓での水・電解質輸送機構の研究 2. チャネル、膜輸送体タンパクの発現実験、機能解析 3. 慢性腎不全の再生療法の開発 4. ノックアウトマウスの作製と機能解析 5. 腎疾患、膜輸送体病の治療法の開発
		111	生殖機能協関学 M	(教員選考中)	1. 生殖内分泌領域での、卵巣機能、受精・着床機序の基礎的な解析 2. 胎児・周産期医学領域での、胎児脳虚血診断法、子宮筋や末梢血管の収縮機構の解明 3. 女性発達・加齢医学領域での、更年期障害、骨粗鬆症や動脈硬化の成因の解明と治療法 4. 性器感染症領域における、絨毛への各種ウイルスの感染機構の解析 5. 婦人科悪性腫瘍の遺伝子解析や病理組織学的な解析
		112	泌尿器科学 M	木 原 和 徳	1. 尿路性器疾患の内視鏡下低侵襲手術の開発(ミニマム創・内視鏡下泌尿器手術) 2. 尿路性器疾患の遺伝子解析および化学療法(末梢血幹細胞移植超大量化学療法) 3. 尿路性器に対する自律神経支配機構の解析および自律神経再建法の開発 4. 精子形成過程および調節機構の解析(精巣腫瘍の解析)および前立腺癌早期診断法の開発 5. 排尿障害の解析と治療
		113	自律生理学 M(MR)	片 山 芳 文 (H19.3.31 定年退職予定)	1. 自律神経系の機能構築に関する細胞生理学的・電気生理学的研究 2. 細胞内機能分子の細胞生理学的・光学的及び免疫組織化学的研究 3. 神経突起の成長と神経回路形成の研究 4. 共焦点顕微鏡による腸神経系の神経伝達物質の免疫組織化学的研究 5. 緑茶成分が腸管機能に及ぼす作用の電気生理学的・光学的研究
		114	分子薬理学 M(MR)	野 田 政 樹	1. カルシウム代謝調節の分子機構 2. 細胞増殖・分子に関わるシグナル分子の解析 3. 細胞外マトリックス分子と接着による細胞制御機構 4. 骨・軟骨細胞分化の分子生物学的解析 5. 骨格系の発生生物学

専攻名	大講座名	番号	分野名	指導教員	研究内容
器官システム制御学系	生体調節制御学	115	細胞機能調節学 M(MR)	大西 淳之	1. 細胞増殖・分化を制御するシグナル伝達機構に関する研究 2. 癌発症機構に関わるシグナル伝達機構の研究 3. 発生・分化を制御するシグナル伝達系のモデル動物を用いた研究 4. 疾患に関わるシグナル伝達系の解析
		116	形質発現制御学 M(MR)	(兼) 野田 政樹	1. mRNAファクトリーのリン酸化制御機構 2. 結合蛋白質のプロテオーム解析 3. 線虫の神経細胞における転写因子CREBの機能 4. 遺伝子発現制御機構のコンピューターシミュレーション
		117	エピジェネティクス M(MR)	石野 史敏	1. 哺乳類の個体発生およびヒト遺伝病の分子生物学的研究 2. ゲノムインプリティング機構 3. クローン動物の遺伝子発現制御 4. 個体発生・成長におけるエピジェネティクス 5. ゲノム科学による哺乳類の進化機構の解析
		118	発生再生生物学 M(MR)	仁科 博史	1. ストレス応答に関わるシグナル伝達系の生理的役割 2. 脊椎動物の発生を制御するシグナル伝達系の研究 3. 器官再生に関わるシグナル伝達系の解明 4. ヒト遺伝性疾患を模倣するモデル生物の作出と解析 5. 再生医療を目指した細胞移植療法の開発
先端医療開発学系	遺伝子・分子医学	119	分子腫瘍医学 M	湯浅 保仁	1. 癌遺伝子・癌抑制遺伝子の分子生物学的解析 2. 発生・分化と発癌の関係 3. メチル化と発癌の関連 4. 転写制御と発癌 5. 胃癌発症機構の分子生物学的解析
		120	血液内科学 M	三浦 修	1. 造血細胞の増殖分化調節機構 2. サイトカイン受容体のシグナル伝達機構 3. 造血器腫瘍の分子生物学的発症機構と制御法の開発 4. BCL6遺伝子と悪性リンパ腫発症機構
		121	分子内分泌内科学 M	平田 結喜緒	1. 血管内皮機能と病態解析 2. 循環調節因子の発現調節と作用の分子機構 3. 高血圧の成因と治療 4. 糖尿病性血管障害の成因と治療 5. ホルモン産生腫瘍発生の分子機構
		122	シグナル遺伝子制御学 M(HG)	中村 正孝	1. Tリンパ球の増殖と腫瘍化の分子機構 2. 細胞分化と転写制御機構 3. 細胞周期の分子機構 4. プロスタグランジンD2受容体の機能と疾患
		123	創薬化学 M(BM)	杉本 昭子	1. 体内抗酸化システムの解明とその応用 2. 生理活性物質の化学的研究 3. 炎症性腸疾患治療薬の開発研究 4. 糖尿病や合併症の発症に関与するアミノ糖由来分子の研究 5. 薬物の物性と化学構造の相関性に関する研究
		124	創薬化学 M(BM)	玉村 啓和	1. ケミカルバイオロジー(生命志向型化学)による生体機能の解明 2. ゲノム・プロテオームを基盤とした創薬 3. ケミカルプローブ(生体内機能探索分子)創製 4. 核内受容体の構造生物学 5. メタボリックシンドロームと創薬
		125	遺伝制御学 M(MR)	木村 彰方	1. ヒトゲノム多様性の構造と機能の解析 2. 難治性循環器疾患の病因と病態形成機構に関するゲノム医学 3. ゲノム医学的研究に基づく疾患制御の研究 4. 組織適合性抗原複合体 (HLA) 遺伝子座の構造と機能の解析 5. 自己免疫疾患の遺伝要因とゲノム医学
		126	生命情報学 M(MR)	新村 芳人	1. 多重遺伝子族の分子進化、比較ゲノム解析 2. バイオインフォマティクス、システム生物学 3. ウィルス進化 4. 複雑系の生命科学への応用 5. 医療情報学、医学生物学統計

専攻名	大講座名	番号	分野名	指導教員	研究内容
先端医療開発学系	遺伝子・分子医学	127	遺伝子応用医学 M(MR)	三木 義 男	1. ゲノム科学を応用した発癌研究 2. 遺伝性腫瘍の分子遺伝学 3. 癌診療における遺伝子診断の確立 4. 発癌におけるDNA損傷修復機能の解析
		128	分子細胞遺伝学 M(MR)	稲澤 讓 治	1. 新規がん関連遺伝子の探索、単離とその機能の解析 2. ゲノムマイクロアレイの開発と癌の個性診断法への応用 3. 遺伝性疾患の原因遺伝子の同定とその機能解析 4. 生活習慣病の発症に関連する遺伝子多型と罹病性解析 5. 遺伝疾患・癌のゲノム・エピゲノム解析
		129	遺伝子機能医学 M(MR)	北嶋 繁 孝	1. 遺伝子発現機構、特に転写機構の解明 2. 生体の適応機構、特に細胞障害と増殖決定機構 3. 転写因子の機能 4. 心筋細胞分裂誘導の分子機構
	先端外科治療学	130	肝胆膵・総合外科学 M	有井 滋 樹	1. 癌の発生・進展に関する分子生物学的研究 2. 癌に対する分子標的治療の開発 3. 肝の再生医学・再生医療 4. 肝の阻血・再灌流障害・肝保存・肝移植に関する研究 5. 鏡視下手術の開発、改良
		131	胸部臓器置換学 M	坂本 徹	1. 補助人工心臓・完全人工心臓植込手術法の確立と標準化 2. Robotics Surgery装置の開発と国産化 3. 機械的補助時の不全左室機能の解析と臨床応用
		132	整形外科学 M	四宮 謙 一	1. 脊髄、骨軟骨再生医学に関する研究 2. 人工材料（骨、神経）の臨床応用に向けての研究 3. 骨、軟部腫瘍の遺伝子解析 4. 神経生理学 5. 脊髄磁場測定器の開発
		133	画像・核医学開発学 M(MH)	竹下 公 矢	1. 早期消化器癌の内視鏡治療 2. 呼吸器疾患に対する内視鏡治療 3. 鏡視下手術器具を用いた機能温存手術の展開 4. 各種腫瘍性疾患に対する光線力学的療法の研究 5. 消化管癌の生検材料を用いた遺伝子検索
				大橋 勇	1. 拡散強調画像からのADC (apparent diffusion coefficient) の測定による各種疾患の評価 2. 肝細胞癌の血行動態 3. 肝細胞癌の早期発見のための画像診断的approach 4. MR angiographyの最適化
		134	診断病理学 M(MH)	明石 巧	1. 人体病理 2. 呼吸器疾患の診断病理学 3. 肺癌の浸潤と細胞外基質の改変 4. 上皮細胞/間質細胞の相互作用と呼吸器疾患
		135	先端技術開発医学 M(BM)	三林 浩 二	1. 生体計測用バイオセンサならびにフレキシブル&ウエアラブルセンサの研究・開発 2. Soft-MEMS技術を利用したバイオデバイスおよびμ-TAS (微量分析システム) の開発とその医療応用 3. 生体認識材料を利用した高感度匂いセンサ、および「匂い診断技術」の研究・開発 4. 光ファイバ式蛍光免疫計測に関する研究 5. 生体分子を利用したアクチュエータ、およびDDS運動体、分子マシン・ロボットの研究・開発
		136	先端機器開発医学 M(BM)	安田 賢 二	1. ラット海馬細胞を用いた1細胞レベル神経ネットワークの構築とこれを用いた記憶・学習メカニズムの研究 2. 免疫細胞の抗原応答ダイナミクスの1細胞計測と、細胞の選択的応答メカニズムの1細胞レベルでの解明 3. 臓器幹細胞からの分化制御技術の開発と、分化細胞を用いた「臓器モデル」チップ（バイオチップ）の開発 4. 1分子計測技術とマイクロ加工技術を用いた創薬支援、毒性検査技術の開発 5. 「心筋」をモデルとした「拍動ゆらぎ」とコミュニティ・エフェクトとの関係の研究

専攻名	大講座名	番号	分野名	指導教員	研究内容
先端医療開発学系	先端外科治療学	137	人工臓器工学 M(BM)	高谷節雄	1. 臨床応用を目指す拍動流、連続流人工心臓の開発研究 2. 新しい経皮的・体外式心血管系循環補助デバイスの研究開発 3. 心血管・血球の機械的補助循環下における流れ、機能、形態のモデリングと有効な補助効果に関する研究 4. 心血管系システムの非侵襲診断に向けた新しい計測方法の研究開発 5. 心血管系デバイスの安全性・有効性評価に関する研究

「研究内容」一覧は平成18年4月19日現在のデータを表示しています。

教員選考中あるいは定年退職予定の場合は教員選考状況により分野名、研究内容の変更がある事があります。

M：医学 MH：医学部附属病院
 D：歯学 DH：歯学部附属病院
 BM：生体材料工学研究所
 MR：難治疾患研究所
 HG：疾患遺伝子実験センター
 RC：先端研究支援センター
 CE：医歯学教育システム研究センター

大学院医歯学総合研究科 組織及び連絡先

市外局番の記載のないものは03です。

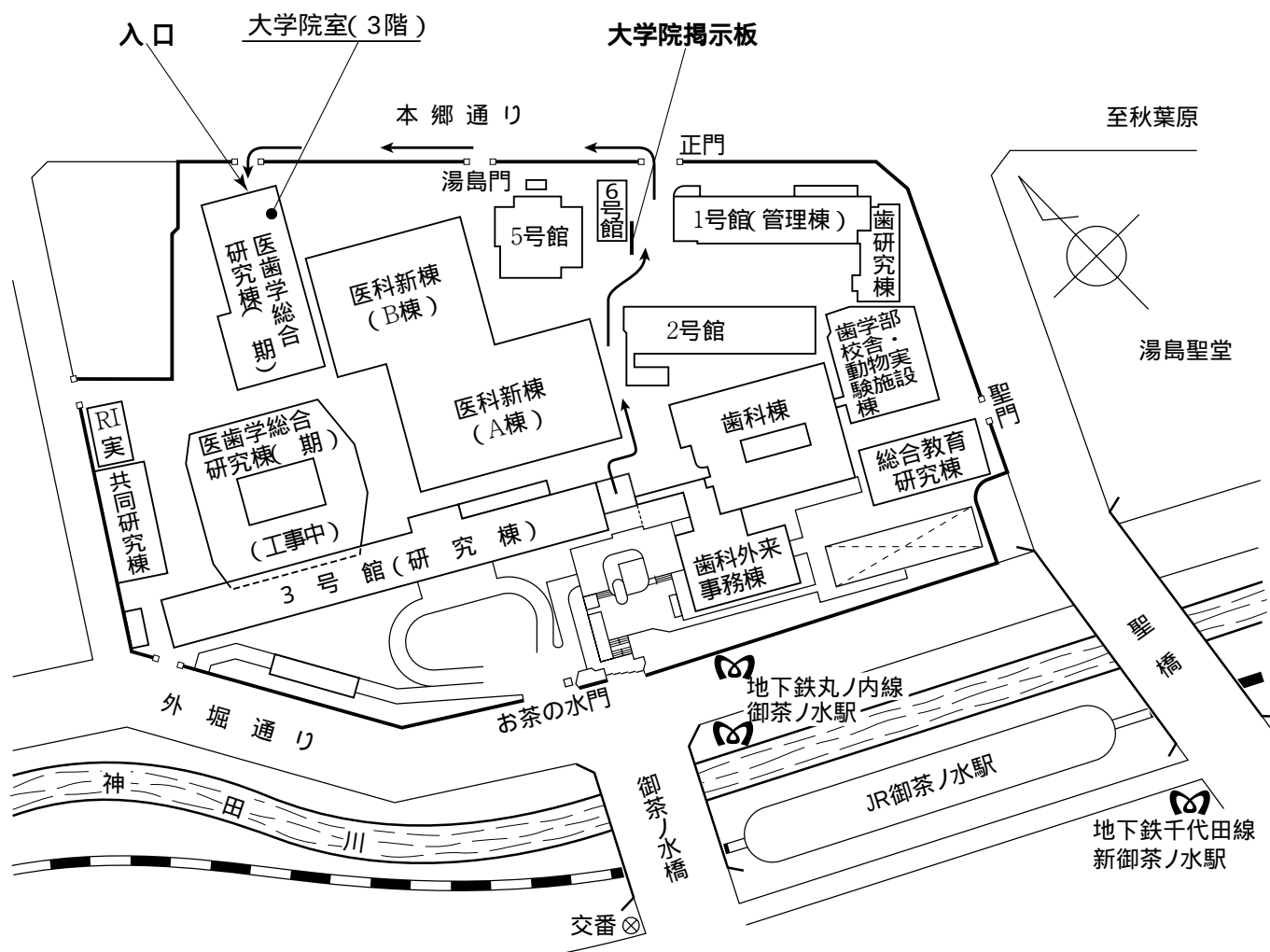
専攻	大講座	分 野	番号	指導教員	連絡担当者	電話番号	e-mail アドレ ス
口腔機能能再構築学系	口腔機能能再構築学	口 腔 病 理 学	1	山 口 朗	山 口 朗	5803 - 5451	akira.mpa@tmd.ac.jp
		分 子 腫 瘍 学	2	土 田 信 夫	土 田 信 夫	5803 - 5455	tsuchida.mcom@tmd.ac.jp
		分 子 免 疫 学	3	東 みゆき	東 みゆき	5803 - 5935	miyuki.mim@tmd.ac.jp
		口腔放射線腫瘍学	4	三 浦 雅 彦	三 浦 雅 彦	5803 - 5545	masa.mdth@tmd.ac.jp
		顎 口 腔 外 科 学	5	小 村 健	丸 岡 豊	5803 - 5507	maruoka.osur@tmd.ac.jp
		口腔放射線医学	6	倉 林 亨	倉 林 亨	5803 - 5544	kura.orad@tmd.ac.jp
		麻酔・生体管理学	7	海 野 雅 浩	小 長 谷 光	5803 - 5549	hkohase.anph@tmd.ac.jp
		疼 痛 制 御 学	8	嶋 田 昌 彦	嶋 田 昌 彦	5803 - 5936	mshimada.ofpm@tmd.ac.jp
		口腔病態診断科学	9	岡 田 憲 彦	岡 田 憲 彦	5803 - 5714	nokd.opth@tmd.ac.jp
	口機發育腔能学	小 児 歯 科 学	10	高 木 裕 三	高 木 裕 三	5803 - 5539	takagi.dohs@tmd.ac.jp
		咬 合 機 能 矯 正 学	11	相 馬 邦 道	相 馬 邦 道	5803 - 5526	soma.orts@tmd.ac.jp
	摂食機能保存学	う 蝕 制 御 学	12	田 上 順 次	田 上 順 次	5803 - 5480	tagami.ope@tmd.ac.jp
		摂食機能保存学	13	三 浦 宏 之	吉 田 恵 一	5803 - 5522	k.yoshida.fpro@tmd.ac.jp
		歯 髓 生 物 学	14	須 田 英 明	吉 岡 隆 知	5803 - 5494	yoshioka.endo@tmd.ac.jp
		先 端 材 料 評 価 学	15	高 橋 英 和	高 橋 英 和	5803 - 5469	takahashi.abm@tmd.ac.jp
		有 機 材 料 学	16	秋 吉 一 成	秋 吉 一 成	5280 - 8020	akiyoshi.org@tmd.ac.jp
		機 能 材 料 学	17	岸 田 晶 夫	岸 田 晶 夫	5280 - 8028	kishida.fm@tmd.ac.jp
	摂食機能学	部分床義歯補綴学	18	五十嵐 順正	五十嵐 順正	5803 - 5512	igarashi.rpro@tmd.ac.jp
		インプラント口腔再生医学	19	春日井 昇平	春日井 昇平	5803 - 5934	kas.mfc@tmd.ac.jp
		全部床義歯補綴学	20	早 川 巖	内 田 達 郎	5803 - 5563	t.uchida.ore@tmd.ac.jp
顎顔面機能能再構築学系	顎顔面機能制御学	顎 顔 面 解 剖 学	21	山 下 靖 雄	山 下 靖 雄	5803 - 5435	y.yamashita.mfa@tmd.ac.jp
		認 知 神 經 生 物 学	22	入 来 篤 史	田 岡 三 希	5803 - 5445	mktaoka.cnb@tmd.ac.jp
		分 子 発 生 学	23	江 藤 一 洋	井 関 祥 子	5803 - 5579	s.iseki.emb@tmd.ac.jp
		分子細胞機能学	24	森 田 育 男	森 田 育 男	5803 - 5575	morita.cell@tmd.ac.jp
		分子神経生物学	25	野 崎 修 一	野 崎 修 一	5803 - 5570	s-nozaki.mnb@tmd.ac.jp
	顎顔面機能修復学	顎 顔 面 外 科 学	26	天 笠 光 雄	山 口 聰	5803 - 5503	yamachan.mfs@tmd.ac.jp
		顎 顔 面 矯 正 学	27	(教員選考中)	辻 美 千 子	5803 - 5536	m-tsuji.mort@tmd.ac.jp
		顎 顔 面 補 綴 学	28	谷 口 尚	隅 田 由 香	5803 - 4757	yuka.mfp@tmd.ac.jp
		障 害 者 歯 科 学	29	山 崎 統 資	山 崎 統 資	5803 - 5727	t.yamazaki.dpd@tmd.ac.jp
		金 属 材 料 学	30	塙 隆 夫	塙 隆 夫	5280 - 8006	hanawa.met@tmd.ac.jp
		機 械 学	31	高久田 和夫	高久田 和夫	5280 - 8040	takakuda.mech@tmd.ac.jp
		臨 床 解 剖 学	32	(教員選考中)	秋 田 恵 一	5803 - 5390	akita.fana@tmd.ac.jp
	頭再顎建部学	形 成 外 科 学	33	秦 維 郎	秦 維 郎	5803 - 5920	hataplas@tmd.ac.jp
		頭 頸 部 外 科 学	34	岸 本 誠 司	岸 本 誠 司	5803 - 5911	kishi.hns@tmd.ac.jp
		腫 瘍 放 射 線 医 学	35	渋谷 均	渋谷 均	5803 - 5309	shibuya.mrad@tmd.ac.jp
生体支持組織学系	生体硬組織再生学	硬組織構造生物学	36	高 野 吉 郎	高 野 吉 郎	5803 - 5439	takanoy.bss@tmd.ac.jp
		硬組織薬理学	37	大 谷 啓 一	大 谷 啓 一	5803 - 5460	kohya.hpha@tmd.ac.jp
		硬組織再生学	38	篠村 多摩之	篠村 多摩之	5803 - 5450	t.shinomura.trg@tmd.ac.jp
		硬組織病態生化学	39	柳 下 正 樹	柳 下 正 樹	5803 - 5447	m.yanagishita.bch@tmd.ac.jp
		分子情報伝達学	40	高 柳 広	高 柳 広	5803 - 5471	taka.csi@tmd.ac.jp
		歯 周 病 学	41	(教員選考中)	渡 辺 久	5803 - 5487	watanabe.peri@tmd.ac.jp
		無 機 材 料 学	42	山 下 仁 大	山 下 仁 大	5280 - 8016	yama-k.bcr@tmd.ac.jp
		細 胞 生 物 学	43	岡 部 繁 男	岡 部 繁 男	5803 - 5140	okabe.cbio@tmd.ac.jp
	支制御分子学	病態代謝解析学	44	畑 裕	畑 裕	5803 - 5164	yuhammch@tmd.ac.jp
		運 動 器 外 科 学	45	宗 田 大	朱 寧 進	5803 - 4675	ju.orj@tmd.ac.jp

専攻	大講座	分野	番号	指導教員	連絡担当者	電話番号	e-mail アドレス
環境社会医歯学系	国際健康開発学	健康推進医学	46	高野 健 人	高野 健 人	5803-5190	secretary1.hlth@tmd.ac.jp
		国際環境寄生虫病学	47	太田 伸 生	赤尾 信 明	5803-5192	ocha.vip@tmd.ac.jp
		司法医学	48	伊藤 洋 子	岩 楯 公 晴	5803-5197	iwadate.legm@tmd.ac.jp
		国際保健医療協力学	49	中村 桂 子	中村 桂 子	5803-5188	nakamura.ith@tmd.ac.jp
		健康推進歯学	50	川口 陽 子	川口 陽 子	5803-5475	yoko.ohp@tmd.ac.jp
		スポーツ医歯学	51	上野 俊 明	山中 拓 人	5803-5867	tyamanaka.spmd@tmd.ac.jp
		法 歯 学	52				
		社会精神保健学	53	山 上 皓	萩原 多重子	5280-8083	hagiwara.crps@mri.tmd.ac.jp
		分子疫学	54	(兼)山上 皓	村松 正 明	5280-8060	muramatsu.epi@mri.tmd.ac.jp
	医療政策学	政策科学	55	河原 和 夫	河原 和 夫	5283-5863	kk.hcm@tmd.ac.jp
		医療経済学	56	川 渕 孝 一	五十嵐 公	5803-5933	igarashi.hce@tmd.ac.jp
		歯学教育開発学	57	森 尾 郁 子	森 尾 郁 子	5803-4558	imorio.edev@tmd.ac.jp
		研究開発学	58	高瀬 浩 造	高瀬 浩 造	5283-5870	ktakase.rdev@tmd.ac.jp
		医療情報システム学	59	伏見 清 秀	伏見 清 秀	5283-5788	kfushimi.hci@tmd.ac.jp
		歯科医療政策学	60	(教員選考中)			
		歯学教育システム評価学	61	荒 木 孝 二	荒 木 孝 二	5803-4577	k.araki.gend@tmd.ac.jp
老化制御学系	口腔制御化学	高齢者歯科学	62	植 松 宏	植 松 宏	5803-5559	matsu.gerd@tmd.ac.jp
	加齢制御医学	包括病理学	63	北川 昌 伸	北川 昌 伸	5803-5173	masa.pth2@tmd.ac.jp
		統合呼吸器病学	64	吉澤 靖 之	稲瀬 直 彦	5803-5954	ninase.pulm@tmd.ac.jp
		血流制御内科学	65	下門 顕太郎	下門 顕太郎	5803-5968	k.shimoka.vasc@tmd.ac.jp
		血管・応用外科学	66	岩井 武 尚	井上 芳 徳	5803-5253	yoshi.inoue.srg1@tmd.ac.jp
		リハビリテーション医学	67	森 田 定 雄	森 田 定 雄	5803-5648	morita.reh@tmd.ac.jp
全人的医療開発学系	包括歯科学	総合診療歯科学	68	黒崎 紀 正	清水 千 工	5803-5566	shimizu.diag@tmd.ac.jp
		頭頸部心身医学	69	(教員選考中)	石 田 恵	5803-5909	ishida.diag@tmd.ac.jp
		歯科医療行動科学	70	俣 木 志 朗	俣 木 志 朗	5803-5894	mataki.diag@tmd.ac.jp
		顎関節咬合学	71	木野 孔 司	木野 孔 司	5803-5713	k-kino.tmj@tmd.ac.jp
	全人診断治療学	臨床検査医学	72	奈良 信 雄	東 田 修 二	5803-5334	tohda.mlab@tmd.ac.jp
		救命救急医学	73	今井 孝 祐	今井 孝 祐	5803-5652	taka.ikasika.ccm@tmd.ac.jp
		心療・緩和医療学	74	松島 英 介	松島 英 介	5803-5859	em.lppm@tmd.ac.jp
		薬物動態学	75	安原 眞 人	安原 眞 人	5803-5601	yasuhara.mpha@tmd.ac.jp
		臨床医学教育開発学	76	田中 雄二郎	増田 美 香 子	5803-4650	m.masuda.dgm@tmd.ac.jp
		救急災害医学	77	大友 康 裕	大友 康 裕	5803-4766	otomo.accm@tmd.ac.jp
認知行動医学系	システム神経医学	神経機能形態学	78	寺田 純 雄	寺田 純 雄	5803-5149	terada.nana@tmd.ac.jp
		システム神経生理学	79	篠田 義 一	杉 原 泉	5803-5153	isugihara.phyl@tmd.ac.jp
		眼 科 学	80	望 月 學	望 月 學	5803-5302	m.manabu.oph@tmd.ac.jp
		耳鼻咽喉科学	81	喜多村 健	喜多村 健	5803-5303	kitamura.oto@tmd.ac.jp
		認知システム学	82	浜崎 浩 子	浜崎 浩 子	5803-5846	hamazaki.aud@mri.tmd.ac.jp
		生体システム制御学	83	東 洋	東 洋	5280-8095	azuma.bsr@tmd.ac.jp
	脳行動病態学	細胞薬理学	84	田 邊 勉	田 邊 勉	5803-5167	t-tanabe.mphm@tmd.ac.jp
		脳神経病態学	85	水澤 英 洋	水澤 英 洋	5803-5233	h-mizusawa.nuro@tmd.ac.jp
		精神行動医科学	86	西 川 徹	西 川 徹	5803-5237	tnis.psyc@tmd.ac.jp
		脳神経機能外科学	87	大野 喜久郎	大野 喜久郎	5803-4630	ohno.nsrsg@tmd.ac.jp
生体環境応答学系	感染応答学	神経病理学	88	岡澤 均	岡澤 均	5803-5847	okazawa.npat@mri.tmd.ac.jp
		免疫アレルギー学	89	烏 山 一	烏 山 一	5803-5162	karasuyama.mbch@tmd.ac.jp
		ウイルス制御学	90	山岡 昇 司	山岡 昇 司	5803-5181	shojmmb@tmd.ac.jp
		免疫治療学	91	神奈木 真理	神奈木 真理	5803-5798	kann.impt@tmd.ac.jp
		細胞制御学	92	山梨 裕 司	山梨 裕 司	5803-5814	yamanashi.creg@mri.tmd.ac.jp
		ウイルス感染学	93	清水 重 臣	清水 重 臣	06-6879-3363	shimizu@gene.med.osaka-u.ac.jp

専攻	大講座	分野	番号	指導教員	連絡担当者	電話番号	e-mail アドレス
生体環境応答学系	生体応答学	発達病態小児科学	94	水谷修紀	森尾友宏	5803-5245	tmorio.ped@tmd.ac.jp
		膠原病・リウマチ内科学	95	宮坂信之	上阪等	5803-5209	kohsaka.rheu@tmd.ac.jp
		皮膚科学	96	横関博雄	横関博雄	5803-5282	3064derm@tmd.ac.jp
		代謝応答化学	97	寺岡弘文	寺岡弘文	5280-8074	hteraoka.pbc@mri.tmd.ac.jp
		免疫応答制御学	98	安達貴弘	鏑田武志	5803-5817	tsubata.imm@mri.tmd.ac.jp
		環境生物学	99	原正幸	原正幸	5803-5790	mhara.ric@cmn.tmd.ac.jp
器官システム制御学系	消滅化病代学	人体病理学	100	(教員選考中)	江石義信	5803-5964	eishi.path@tmd.ac.jp
		消化器病態学	101	渡辺守	渡辺守	5803-5973	mamoru.gast@tmd.ac.jp
		腫瘍外科学	102	杉原健一	飯田聡	5803-5261	s-iida.srg2@tmd.ac.jp
	呼吸循環病学	細胞生理学	103	水島昇	水島昇	5803-5157	nmizu.phy2@tmd.ac.jp
		循環制御内科学	104	磯部光章	磯部光章	5803-5951	isobomi.cvm@tmd.ac.jp
		心肺統御麻酔学	105	横田浩史	横田浩史	5803-5323	makita.mane@tmd.ac.jp
		心肺機能外科学	106	砂盛誠	砂盛誠	5803-5267	sunamori.tsrg@tmd.ac.jp
		循環病態生理学	107	(兼)木村彰方	木村彰方	5280-8056	akitis@mri.tmd.ac.jp
		生体情報薬理学	108	古川哲史	古川哲史	5280-8069	t_furukawa.bip@mri.tmd.ac.jp
		分子代謝医学	109	小川佳宏	小川佳宏	5280-8108	ogawa.mmm@mri.tmd.ac.jp
	生体調節制御学	腎臓内科学	110	佐々木成	佐々木成	5803-5212	ssasaki.kid@tmd.ac.jp
		生殖機能協関係	111	(教員選考中)	久保田俊郎	5803-5317	t.kubota.gyne@tmd.ac.jp
		泌尿器科学	112	木原和徳	斎藤一隆	5803-5292	kz-saito.uro@tmd.ac.jp
		自律生理学	113	片山芳文	片山芳文	5280-8078	kataauto@tmd.ac.jp
		分子薬理学	114	野田政樹	野田政樹	5280-8066	noda.mph@mri.tmd.ac.jp
		細胞機能調節学	115	大西淳之	澁谷浩司	5280-8062	shibuya.mcb@mri.tmd.ac.jp
		形質発現制御学	116	(兼)野田政樹	萩原正敏	5803-5836	m.hagiwara.end@mri.tmd.ac.jp
		エピジェネティクス	117	石野史敏	石野史敏	5280-8072	fishino.epgn@mri.tmd.ac.jp
		発生再生生物学	118	仁科博史	仁科博史	5803-4659	nishina.dbio@mri.tmd.ac.jp
先端医療開発学系	遺伝子・分子医学	分子腫瘍医学	119	湯浅保仁	湯浅保仁	5803-5182	yuasa.monc@tmd.ac.jp
		血液内科学	120	三浦修	三浦修	5803-5952	miura.hema@tmd.ac.jp
		分子内分泌内科学	121	平田結喜緒	吉本貴宣	5803-5220	tyoshimoto.cme@tmd.ac.jp
		シグナル遺伝子制御学	122	中村正孝	中村正孝	5803-5795	naka.gene@tmd.ac.jp
		創薬化学	123	杉本昭子	杉本昭子	5280-8048	akiko-s.chem@tmd.ac.jp
		創薬化学	124	玉村啓和	玉村啓和	5280-8036	tamamura.mr@tmd.ac.jp
		遺伝制御学	125	木村彰方	木村彰方	5280-8056	akitis@mri.tmd.ac.jp
		生命情報学	126	新村芳人	田中博	5803-5839	tanaka@cim.tmd.ac.jp
		遺伝子応用医学	127	三木義男	三木義男	5803-5825	miki.mgen@mri.tmd.ac.jp
		分子細胞遺伝学	128	稲澤譲治	稲澤譲治	5803-5820	johinaz.cgen@mri.tmd.ac.jp
		遺伝子機能医学	129	北嶋繁孝	北嶋繁孝	5803-5822	kita.bgen@mri.tmd.ac.jp
	先端外科治療学	肝胆膵・総合外科学	130	有井滋樹	有井滋樹	5803-5927	ars.msrg@tmd.ac.jp
		胸部臓器置換学	131	坂本徹	坂本徹	5803-5925	sakamoto.asor@tmd.ac.jp
		整形外科学	132	四宮謙一	四宮謙一	5803-5271	shinomiya.orth@tmd.ac.jp
		画像・核医学開発学	133	竹下公矢	竹下公矢	5803-5668	k.takeshita.optx@tmd.ac.jp
		画像・核医学開発学		大橋勇	大橋勇	5803-5311	oohsmrad@tmd.ac.jp
		診断病理学	134	明石巧	明石巧	5803-5660	akashi.path@tmd.ac.jp
		先端技術開発医学	135	三林浩二	三林浩二	5280-8091	m.bdi@tmd.ac.jp
		先端機器開発医学	136	安田賢二	安田賢二	5280-8046	yasuda.bmi@tmd.ac.jp
		人工臓器工学	137	高谷節雄	高谷節雄	5280-8168	takatani.ao@tmd.ac.jp

本学構内案内図

- ・大学院室は「医歯学総合研究棟（期）」3階です。



建物等わからない場合は大学院室に電話して下さい。(5803 - 5918 , 5919)

		受験番号	
--	--	------	--

平成19年度 東京医科歯科大学大学院
医歯学総合研究科医歯科学専攻（修士課程）入学願書

東京医科歯科大学長 殿

ふりがな
志願者氏名 _____ 男・女

ローマ字表記 _____

生年月日 昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日生（ _____ 歳）

貴大学大学院医歯学総合研究科医歯科学専攻修士課程に入学したいので
所定の書類を添えて出願いたします。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

写 真

（縦 5 cm × 横 4 cm）
無帽上半身、正面向で
出願前 3 ヶ月以内に
撮影した写真を
貼って下さい。

志望分野等	_____ 専攻 _____ 講座 _____ 分野 指導教員氏名 _____ 印		
本 籍 地 （外国人留学生は国籍）	_____（都道府県名のみ記入すること）		
現 住 所	〒 _____ TEL: _____		
提出書類に関する 問 い 合 わ せ 先	〒 _____ E-mail: _____ 携帯電話: _____		
出 願 資 格	_____ 大学 _____ 学部 _____ 学科 _____ 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 卒業・卒業見込み		

（注）１．記入に当たっては、黒ボールペン又は黒インクを用い、楷書で正確に記入して下さい。（ 印は記入しないで下さい。）
２．裏面の履歴事項についても必ず記入して下さい。
３．志望分野の指導教員の押印を受けてから、提出して下さい。

（切り取らないで下さい。）

平成19年度 東京医科歯科大学大学院
医歯学総合研究科医歯科学専攻（修士課程）受験票

受験番号			写 真 （縦 5 cm × 横 4 cm） 無帽上半身、正面向で 出願前 3 ヶ月以内に 撮影した写真を 貼って下さい。
氏 名			
志望分野等	_____ 専攻 _____ 講座 _____ 分野		

試験当日は、本受験票を持参して下さい。《試験日：平成18年 8 月 4 日（金）》

履 歴 事 項				
学		年	月	高等学校 卒 業
		年	月	大学 学部 学科 入 学
		年	月	大学 学部 学科 卒 業 卒業見込
歴	自	年	月	
	至	年	月	
職	自	年	月	
	至	年	月	
歴	自	年	月	
	至	年	月	
資		年	月	
		年	月	
		年	月	
格		年	月	
		年	月	
賞		年	月	
		年	月	

（注）学歴は、高等学校卒業から記入して下さい。

他大学院併願状況			
大学院	研究科	課程	専攻
大学院	研究科	課程	専攻
大学院	研究科	課程	専攻

検定料納付証明書
貼付欄

（全面貼付）

出願にあたって、所定の振り込み用紙により、銀行等から検定料を納付して下さい。

なお、納付の際に発行される「検定料納付証明書」をこの場所に貼付して下さい。

（はがれないように貼って下さい。）

研究の展望・抱負

志 望 分 野 名	氏 名
分 野	

A full-page sheet of white graph paper. The grid consists of small squares formed by thin, light gray dashed lines. There are 20 columns and 20 rows of these squares, creating a uniform pattern across the entire page. The margins are consistent on all sides.

注) 横書きで400字以内
は記入しない。

記入例

カナシメイ、氏名を記入してください。

カナシメイ、氏名を記入してください。

カナシメイ、氏名、住所を記入してください。

平成18年度 東京医科歯科大学 検定料
納付証明書

平成18年度 東京医科歯科大学 検定料
振込金（兼手数料）受領書

平成18年度 東京医科歯科大学 検定料
電信扱
振込依頼書

金 額 ￥30,000
整理番号 42000
フリガナ トウキョウ タロウ
氏 名 東京太郎

金 額 ￥3,000.00
先方銀行 東京三菱銀行本店
受取人 普通預金 7897115
東京医科歯科大学
ご依頼人（氏名） トウキョウ タロウ 東京太郎

金 額 ￥3,000.00
通 貨 内 訳
振 替
領 又 は 済 振 替 印
3ヶ所押印

国立大学法人 東京医科歯科大学
（ご依頼人→大学）

東京三菱銀行本店
（ご依頼人→大学）

東京医科歯科大学
（ご依頼人→大学）

金融機関へお願い

金融機関へお願い

金融機関へお願い

払込後、金融機関の収納印があることを確認してください。

（切り離して納付してください。）

平成18年度 東京医科歯科大学 検定料
納付証明書

金 額	￥30,000
整理番号	42000
フリガナ	
氏 名	

印欄は必ず記入してください。

国立大学法人
東京医科歯科大学

東京医科歯科大学
（ご依頼人→大学）

平成18年度 東京医科歯科大学 検定料
振込金（兼手数料）受領書

平成 年 月 日	手数料	
金 額	￥3,000.00	
先方銀行	東京三菱銀行本店	
受取人	普通預金 7897115 東京医科歯科大学	
ご依頼人（氏名）	（フリガナ）	

上記金額、正に領収しました。
【取扱店】

銀行 支店

印欄は必ず記入してください。

東京医科歯科大学
（ご依頼人→大学）

平成18年度 東京医科歯科大学 検定料
電信扱
振込依頼書

ご依頼日	平成 年 月 日	電信扱	手数料	
先方銀行	東京三菱銀行本店	金 額	￥3,000.00	
受取人	普通預金 7897115 トウキョウ イ カ シ カ ダイガク 東京医科歯科大学	内 訳	通 貨	
整理番号	（フリガナ）	振 替		
42000		領 又 は 済 振 替 印	取扱銀行収納印	
ご依頼人	氏 名	電話 （ ）	3ヶ所押印	

印欄は必ず記入してください。

（取扱店保存）